

関西地域 / 南モンゴル 講演会・歓迎会のお知らせ

S・テムチルト

内モンゴル人民党 主席

1970年代末、80年代初め頃から中国国内でモンゴル人の人権や中国人の大量移住に反対する運動を展開しましたが、当局の激しい弾圧を受け、1993年に政治難民としてドイツに移住。

1997年、内モンゴル人民党を結成、党主席に選出され、国連への南モンゴルの人権報告書提出などの実績を挙げ、2006年に来日して南モンゴルの平和的手段による独立を目指すことを宣言しました。2008年のUNPO第9回大会には、内モンゴル代表として出席、ヨーロッパを中心に活躍している。



南モンゴルで

結成、「代表なき国家民族機構」に参加するなど世界的活動を展開する内モンゴル人民党の主席。

G・ルービン

初代モンゴル自由連盟党 党首

南モンゴル（いわゆる内モンゴル）出身。元内モンゴル工業大学教師。日本の大阪外国語大学（当時）に留学中の2006年、大阪府にてモンゴル自由連盟党設立、初代党首となる。その後モンゴル国（いわゆる外モンゴル）に。大変な生活苦、そして同国まで影響力を持つ中国当局による拘束の危険の中、ウランバートルの国連難民高等弁務官事務所へ難民申請、同事務所の調整によりアメリカ合衆国に移住。現在も同国に在住、グリーンカード（米国の永住権及びその資格証明書）取得。アメリカでも言語の問題や生活の困難に苦しみつつも、日本中心となりがちな党の海外活動の形を模索する。



O・ダイチン

現モンゴル自由連盟党 党首

南モンゴル（いわゆる内モンゴル）出身。内モンゴルで高校教師を勤めた後日本へ。大阪外国語大学（当時）に留学中の2006年、大阪府にてモンゴル自由連盟党をルービン氏と共に設立、幹事長に。その後日本国への難民申請を行うが拒否され、現在は特別在留資格の身分で中国政府による南モンゴルでの深刻な人権弾圧、政治的抑圧の状況を精力的に訴える。櫻井よし子理事長の公益財団法人国家基本問題研究所が主催したシンポジウムに主要パネリストとして登壇したり、安倍晋三総理と会談するなどし、2013年には幹事長から党代表に。



2006年12月に

大阪で、

たった2人の留学生が結成、
しかし今や日本では

大きな影響力を持つに至った

モンゴル自由連盟党の歴代党首。

特に初代党首ルービン氏は
7年ぶりの来日です。

2015/1/24(土)

会場 兵庫国際交流会館

日程 13:00 受付 13:30 講演会開始

参加費 1000円

主催 南モンゴル自由民主運動基金
<http://smldf.org>

内容 南モンゴル人が主催する講演会です。
テムチルト氏、ルービン氏、ダイチン氏が参加予定。題は「南モンゴルの現状と未来
これからのアジアの民主化運動」。

(※17日には東京でも開催されます)

2015/1/25(日)

会場 大阪駅前第二ビル5F 第4研修室

日程 講演会 9:45 受付 10:00 講演会開始
食事会 11:30 頃開始

参加費 講演会 1000円
食事会 3000円 (講演会の1000円を含む)

主催 ルービン君帰国歓迎委員会 (tnk@tono-oka.jp)

内容 日本人がルービン氏の帰国を歓迎する会です。
ダイチン氏も参加されます。大阪で運動を立ち上げてから9年間の苦難など、お2人の思いを中心に語って頂きます。